

平成24年12月26日

習志野市長 宮本泰介 様

習志野市新庁舎建設基本構想策定
市民委員会 委員長 南 学

習志野市の市庁舎、特に本庁舎は、市制施行10周年となる昭和39年度に、新たなまちづくりの拠点として建設をされて以来、これまで、習志野市の発展とともに歩みを進めてまいりました。しかし、建築後48年を経過し、その間の社会経済状況の変化により、老朽化、分散化、狭隘化などの様々な課題が発生し、特に、昨年3月11日の東日本大震災により、建物の安全性の確保が困難な状況となってしまいました。

この問題に適切に対応するために、習志野市では、「みんなでつくる市庁舎」をコンセプトに掲げ、市民、関係者の意見を聞きながら、早期の新庁舎建設に向けて動き出しました。

この一連の動きの中で、私たち、習志野市新庁舎建設基本構想策定市民委員会が設置をされ、将来の習志野市のまちづくりの中心となる市庁舎の建設に向けた基本構想（案）の策定作業が始まったところであります。

本市民委員会では、新庁舎建設が急務であるという市の姿勢のもとで、平成24年7月から12月までという大変に限られた時間の中で、下記の32人の委員により、市民の視点に重きを置きつつ、精力的に5回の熱心な議論を重ねてまいりました。

委員会での議論の過程においては、各委員の置かれている状況を踏まえ、様々な角度から、多種多様な意見が表明されました。結果として、最終的な新庁舎建設基本構想（案）に取り入れることができない意見も多くありましたが、それらの意見についても、参考資料として巻末に掲載していますので、今後の市の新庁舎建設作業において、充分検討してください。

そのうえで、本市民委員会としての検討結果を、ここに「習志野市新庁舎建設基本構想（案）」として取りまとめましたので、別紙のとおり提出いたします。

記

習志野市新庁舎建設基本構想策定市民委員会委員

委員長 南 学 副委員長 田久保 精一

委 員

井上 和彦	太田 想三	家崎 まり子	高橋 勝	伊藤 邦子	鈴木 とし江
浅井 智子	渡邊 正昭	長谷川 清次	外山 丈子	木村 房子	櫻井 敏夫
富谷 輝夫	間藤 清美	海老原 昇	望月 昌夫	齋藤 拓馬	布川 淳
島村 英子	須貝 志げ子	松田 敏子	北野 幸樹	倉斗 綾子	曾根 陽子
柳澤 要	山田 宏	海寶 嘉胤	三束 武司	伊藤 和彦	鏝屋 智幸